



「田んぼアート」を味覚で楽しむ

10/20 信州安曇野田んぼアート収穫祭

約3カ月半の間公開され、延べ6万3,000人が来場した「信州安曇野田んぼアート」の収穫祭が開催されました。アートに使用したお米のおにぎりやきのこ汁のふるまい、新米の販売が行われ、来場した約200人が秋の味覚を堪能しました。また、信州安曇野田んぼアートは来年度も開催することが決定し、丸山庄一実行委員長は「来年も大勢の人が訪れるアートにしたい」と意気込みを語りました。



食欲の秋を存分に味わう

11/9・10 新そばと食の感謝祭 農林業まつり

第7回目となる信州安曇野新そばと食の感謝祭・農林業まつりが、穂高神社特設会場で2日間にわたり開催されました。来場者は新そばのほか、林檎ナポリタンややさいスイーツも食べ比べ、秋の風味を楽しんでいました。富山県から娘と一緒に来たという黒田よう子さんは「そばが美味しくて3年前から毎年来ています。安曇野のワサジも辛すぎず食べやすい。」と話してくれました。

市議会新正副議長・監査委員など決まる

市議会臨時会が10月25日に開かれ、正副議長の改選と監査委員が次のとおり決まりました。(敬称略)

●市議会



議長 沼田 義人  
副議長 小松 芳樹

【総務環境委員会】

◎平林明、○藤原陽子、白井泰彦、遠藤武文、林孝彦、平林徳子、沼田義人

【福祉教育委員会】

◎中村今朝子、○小林陽子、増田望三郎、竹内秀太郎、猪狩久美子、内川集雄、小松洋一郎

【経済建設委員会】

◎松枝功、○一志信一郎、坂内不二男、井出勝正、宮下明博、小林純子、小松芳樹

【議会運営委員会】

◎竹内秀太郎、○藤原陽子、松枝功、平林明、猪狩久美子、小林純子、内川集雄、小松洋一郎

【議会広報特別委員会】

◎増田望三郎、○小林陽子、林孝彦、坂内不二男、井出勝正、一志信一郎、中村今朝子、小林純子、内川集雄、小松洋一郎

◎委員長○副委員長

●監査委員



監査委員(議会選出)  
坂内 不二男

監査委員(議会選出)は坂内不二男さんが再任されました。任期は令和3年10月22日までです。

市議会が政策提言 人口減少対策

安曇野市議会(小松洋一郎議長)は15日、市内の子育て環境整備などを求める「人口減少対策に関する提言書」を市に提出しました。

安曇野市の合計特殊出生率は1・44と県内19市で下から3番目に低く、昨年4月の議会報告会で市民から少子化対策を求め、公民館や空き家・空き店舗

を多用した「子育てひろば」を設置することなどを提案しました。宮澤市長は「人口減少は市の大きな課題。これからの計画策定の参考にさせていただき、対応できることからやっていきたい」と話しました。

テレワークセンターの開所を10月15日、市役所穂高支所西別棟で開催しました。この施設は、子育てや体調面などさまざまな理由で、フルタイムで働くことが難しい人を対象とした就業施設です。

カー(就労者)の希望する時間に行います。本格的な業務は11月以降から取り組む予定です。施設内には、20台のパソコンやモニターを備えたワークスペースのほか、子ども連れでも利用できる多目的スペースなどが整備されています。改修・整備費用は約650万円で、テレワ



20台のパソコンが設置されたワークスペース

ーク事業の実績のある塩尻市振興公社に運営を委託します。年度内に40人のワーカークの確保を目指しており、開所式前に行われたワーカーク向けの説明会には、31人が参加しました。宮澤市長は「時間・場所の使い方を自分らしく見直し、充実した生き方・働き方につなげてほしい」と話しました。



提言書を渡す小松議長